米原市における地域学校協働活動の取組

［取組状況］■地域学校協働本部　■地域未来塾　□放課後子ども教室　□土曜日の教育支援

■ 目指す姿

本市では、「自分の未来を自分でつかむ子どもの育成」を目指し、地域の良さを生かした特色ある教育を推進している。その中で、学校と園、家庭・地域が子どもの成長を中心に置き、目標やビジョンを共有しながら、子どもの支援の当事者として一体となって熟議・協働するための仕組みづくりを進めてきた。

本取組を通して、地域の人的・物的資源の活用や社会教育との連携により、各地域の自然や伝統、文化を生かした豊かな体験活動の実現を目指していきたい。また、これらの活動を通じて、子どもたちの自己肯定感や自己有用感を高めるとともに、ふるさとを愛し自ら行動しようとするシビックプライドを醸成し、子どもたちの将来にわたる財産としていきたい。



【 米原学区
小中合同かまどベンチ活用 】

■ 本年度の具体的活動

〇地域・学校の連携に関わる研修会の実施

地域学校協働活動推進委員、学校運営協議会委員、教職員を対象に地域・学校の連携に関わる研修会を開催した。市内の先進事例として伊吹山学区の取組発表をしていただいた。また、各本部の現状と課題について意見交流を行った。

〇教育フォーラムの開催

柏原学区　：はびろ学習ラリー（各学年からの発表）・学校運営協議会との意見交流
大東学区　：学区全体での読書活動「ビブリオバトル」
伊吹山学区：「伊吹山を核とした地域学習、防災教育」伊吹地区の土砂災害を経験しての各校の交流
米原学区　：収穫感謝祭・校園の発表・学校運営協議会主催の意見交流会（焼きいも交流会）
河南学区　：学校運営協議会の取組発表・児童会、生徒会による取組発表・合唱
双葉学区　：小中合同参観日「ふたばの日」、山本太一氏による講演

■ 本年度の力点

・学区の目標やビジョンに合わせて、これまでの活動を見直し、発展させたり新たな取組を行ったりすること。
・各地域の自然や伝統、文化を生かした特色ある取組を行うことで、子どもたちにシビックプライドを育むこと。

■ 課題と今後の連携・協働活動の推進に向けて

持続可能な活動にするため、認知度を上げ、新たな人材を確保する必要がある。また、活動をブラッシュアップしたり役割の分担・見直しをしたりすることで、活動は充実させ、業務負担の軽減につなげていきたいと考えている。

■ 地域学校協働活動推進員の委嘱状況

令和2年度より委嘱を実施。令和7年度は、20 名に委嘱。

■ 域内の公立学校園の学校運営協議会の導入状況および計画

令和2年度より、市内全小中学校に設置している。



【 伊吹フェスティバル 】